

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 22 日現在

機関番号：32697

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23520070

研究課題名(和文) サンスクリット写本識語の研究 ネパール写本を中心として

研究課題名(英文) Colophons of Sanskrit manuscripts (focusing on Nepalese manuscripts)

研究代表者

DELEANU FLORIN (Florin, Deleanu)

国際仏教学大学院大学・仏教学研究科・教授

研究者番号：10271404

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,000,000円

研究成果の概要(和文)：従来の研究で等閑視されてきたサンスクリット写本識語の調査をネパール写本中心に実施した。国内外のサンスクリット写本所蔵機関で実見調査を実施し、多くの写本識語を正確に解読し電子テキストとして蓄積した上で、地名・寺院名・王名・筆写者・寄進者・所有者その他の固有名詞を収集し、日付を西暦に換算し書写年代を確定できた。既存の目録や校訂本に記載される識語に、非常に多くの誤読や年代見落とし等の欠陥が含まれていることが明らかになった。識語調査の副産物として、目録で未比定とされる写本の文献比定や目録に記載されていない断片の発見にも成功した。

研究成果の概要(英文)：The project focused on the study of colophons of Sanskrit manuscripts, mainly coming from Nepal - an area which has been largely neglected so far. We have conducted actual surveys of original manuscripts housed in Japanese and English collections. This has resulted in a body of digitally stored data of the colophons which have been accurately deciphered. We have also collected such data as places, temples, rulers, scribes, donors, owners, etc. connected to the colophons. In some cases, this has allowed us to determine with precision the historical dates when the manuscripts/colophons were written. The investigation has also revealed that the existing catalogues and editions of Sanskrit manuscripts with colophons contain many incorrect readings, omissions of dates, etc. A spinoff of the research has been the identification of Sanskrit manuscripts previously unidentified as well as of fragments unrecorded in existing catalogues.

研究分野：仏教学

キーワード：サンスクリット写本 写本識語 ネパール写本 東インド写本 ネットワーク サンスクリット インド仏教

1. 研究開始当初の背景

19世紀前半カトマンドゥ盆地で、ネワール仏教徒がサンスクリットで仏教文献を伝承していることが明らかになって以来、膨大な数のサンスクリット仏典がネパール写本に基づいて校訂出版された。従来、ネパール写本を研究する際の重点は本文校訂にあったため、本文と直接関係のない識語は、書写年代以外特に注目されることなく付属的に扱われてきた。ネパール写本の目録についても、識語の内容を正確に記述したといえるものは少ない。ネパール史研究では写本識語が一次史料として利用されてきたが、サンスクリット文学・仏教学の分野でネパール写本識語の包括的研究が行われたことはかつてなかった。

2. 研究の目的

従来の研究で等閑視されてきたサンスクリット写本識語の調査をネパール写本中心に実施し、識語をできる限り正確に解読した上で、識語に現れる固有名詞を収集し、書写年代を確定することを目的とした。

3. 研究の方法

まずネパール写本の写真版・原典転写版・校訂版等公刊された書籍・雑誌論文の中から、識語部分を含むものを抽出し、文献目録を作成した。

写本識語をできる限り正確に解読するため、国内外のサンスクリット写本所蔵機関で実見調査を実施した。実見調査の際にはその場でノートパソコンに入力し、電子テキストとして蓄積していった。個々の識語に現れる地名・寺院名・王名・筆写者・寄進者・所有者その他の固有名詞を収集した。調査に当たっては、日付を明記する写本を優先的に調査し、インターネット上で公開されているソフトウェア Yano & Fushimi, *Pancanga* Vers. 3.13 を応用することにより、書写完了日を西暦に換算し確定することができた。

4. 研究成果

500本以上のネパール写本を所蔵する東京大学総合図書館では、古い貝葉写本を中心に実見調査を行った。同館所蔵サンスクリット写本については、Seiren Matsunami, *A Catalogue of the Sanskrit Manuscripts in the Tokyo University Library* (Tokyo: Suzuki Research Foundation, 1965) (松涛目録) が公刊されているが、写本の実見調査により、同目録で未比定とされる断片の文献比定に成功したほか、同目録に未記載の断片を発見できた。写本の年代について、同目録では識語に記されているネワール暦の年号を記載するのみであるが、曜日等の詳しい暦日要素を識語に記す多くの写本の書写完了日を西暦に換算し確定することができた。

東洋文庫では所蔵する全サンスクリット写本の識語解読が完了した。目録 (Ryotai

Kaneko and Yoshihiro Matsunami with the collaboration of Kojun Saito, "A Descriptive Catalogue of the Sanskrit Manuscripts in the Possession of the Toyo Bunko," *Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 37, 1979: pp.151-191) で "unidentified" (未比定) とされる写本、No. 27 が *Vimalaprabha*, No. 28 が Madhava 著 *Rugviniscaya* および Vrnda 著 *Siddhayoga* を中心とする医学文献の写本であることが明らかになった (雑誌論文)。4本の写本については書写完了日を西暦に換算し確定することができた。

東海大学附属図書館中央図書館では現在所在不明の1本を除く全サンスクリット写本の識語実見調査が完了した。

立正大学情報メディアセンター大崎図書館所蔵 *Gandavyuha* 写本は、現存する最終葉が識語の途中で終わっているため、次葉に日付等を含む識語の続きが記されていたものと考えられる。

国外では研究分担者がイギリスに出張し以下の所蔵機関で実見調査を実施した。

王立アジア協会 (ロンドン) 所蔵本については、目録で書写年代の記載が確認できる全写本 (全所蔵写本の約半数) の識語解読が完了した。Budhanrtyesvara の書写した No.55 *Dharanisamgraha* 写本の書写完了日が西暦1824年2月7日土曜日に確定するため、同じ筆写者を識語に明記しながらも日付のない同一筆跡の No.5 *Lankavatara* 写本も19世紀前半の写本である可能性が高い。6本の書写完了日が確定したが、16本の識語では曜日等が記されていないため日付の確認ができなかった。

ウェルカム図書館 (ロンドン) では、大部分のサンスクリット写本の識語実見調査ができた。同館ではデジタルカメラによる写本撮影が許可されたため調査した識語を全て撮影した。

大英図書館 (ロンドン) では、20世紀初頭出版された目録 (Cecil Bendall, *Catalogue of the Sanskrit Manuscripts in the British Museum*. London: Gilbert and Rivington, 1902) に記載される写本を中心に実見調査を実施した結果、目録に記載される識語に誤読が含まれていることが明らかとなった。

ロンドン大学 SOAS 図書館では、デジタルカメラによる写本撮影が許可されたため識語を撮影しながら、実見調査を行った。

ケンブリッジ大学図書館では、もともと東インドで作成されたのちネパールにもたらされたと考えられる写本を中心に識語の実見調査を実施した。西暦1447年8月9日水曜日に換算・確定できる日付と、ビハール地方の現代の村名に比定できる地名を、識語に明記する *Kalacakratantra* 写本 (Add.1364) に関しては、研究分担者が学会発表を行い、雑誌論文を公刊した。13世紀初頭、ヴ

イクラマシーラ等、東インドの大規模仏教寺院がムスリム軍の攻撃で破壊された後、インド仏教が滅亡したとする従来の通説が覆され、15世紀中葉まで東インドで仏教が確実に存続していたことが同論文で立証された。写本識語研究が、インド仏教史の常識を書き換える結果となった。

以上、国内外のサンスクリット所蔵機関での実見調査により、既存の目録や校訂本に記載される識語に、誤読や年代見落とし等の欠陥が含まれていることが明らかになった。また写真版やマイクロフィルム等で解読困難な箇所が実見調査で解読できた事例が非常に多い。識語はサンスクリット写本の最終葉に書かれるため物理的破損・磨滅にさらされており、実見調査はよりよい解読のために非常に有効であった。

精確に解読した識語から、地名・寺院名・王名・筆者名・寄進者・所有者その他の固有名詞を収集し、書写年代を西暦に換算・確定できた。

ネパール写本所蔵機関を中心に、利用案内・閲覧方法やインターネット上で利用できる目録・写本画像等へのリンクを集めた、「サンスクリット仏教写本 所蔵機関リンク集」を国際仏教学大学院大学ウェブページ上に公開し随時更新した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

Hori Shin'ichiro, Evidence of Buddhism in 15th-Century Eastern India: Clues from the Colophon of a *Kalacakratantra* Manuscript in Old Bengali Script, 『印度學佛教學研究』第63巻第3号, 2015, pp.1322-1328 (pp.228-234). 査読有

堀 伸一郎「東洋文庫所蔵未比定サンスクリット写本について」『東洋文庫書報』第44号, 2013, pp.1-24. 査読無

<http://www.toyo-bunko.or.jp/library3/s12-hori.pdf>

Florin Deleanu, Tempering Belles Infideles and Promoting Jolies Laides: Idle Thoughts on the Ideal Rendering of Buddhist Texts and Terminology, *Journal of the Oxford Centre for Buddhist Studies*, Vol. 2, 2012, pp.146-178. 査読有

Florin Deleanu, Far From the Madding Strife for Hollow Pleasures: Meditation and Liberation in the *Sravakabhumi*, 『国際仏教学大学院大学研究紀要』第16号, 2012, pp.1-38. 査読無

<http://id.nii.ac.jp/1153/00000014>

堀 伸一郎「ロシア科学アカデミー東洋写本研究所所蔵中央アジア出土サンスクリット断片について」『佛教學』第53号, 2011, pp.1-24. 査読有

〔学会発表〕(計8件)

堀 伸一郎「15世紀に古ベンガル文字で書かれたサンスクリット仏教写本の識語について」, 日本印度学仏教学会第65回学会大会, 2014年8月31日, 武蔵野大学(東京都江東区).

Shin'ichiro Hori, On the Exact Dates of Some Buddhist Sanskrit Manuscripts in Old Bengali Script, XVIIth Congress of the International Association of Buddhist Studies, 2014年8月23日, ウィーン(オーストリア).

Florin Deleanu, Meditative Experience and Hermeneutical Fiddling in Yogacara Buddhism, XVIIth Congress of the International Association of Buddhist Studies, 2014年8月20日, ウィーン(オーストリア).

堀 伸一郎「『大方広仏華嚴經』の梵語原典とその題名 中央アジア出土梵本断簡の研究に基づいて」, 第10回ザ・グレイトブッダ・シンポジウム, 2011年12月11日, 東大寺(奈良県奈良市).

Florin Deleanu, Meditative Practices in the *Mahayanasutralamkara*, Symposium on Yogacara Terminology, 2011年11月5日, バークレー(アメリカ).

Florin Deleanu, Tempering Belles Infideles and Promoting Jolies Laides: Idle Thoughts on the Ideal Rendering of Buddhist Texts and Terminology, 2011年11月4日, バークレー(アメリカ).

デレアヌ フロリン「インド写本入門」, 国際仏教学大学院大学 平成23年度第2回公開講座, 2011年10月8日, 国際仏教学大学院大学(東京都文京区).

堀 伸一郎「ロシア科学アカデミー東洋写本研究所所蔵中央アジア出土サンスクリット断片について」, 仏教思想学会第27回学会大会, 2011年7月2日, 東洋大学(東京都文京区).

〔図書〕(計7件)

Paul Harrison and Jens-Uwe Hartmann, eds., *From Birch Bark to Digital Data: Recent Advances in Buddhist Manuscript Research. Papers Presented at the Conference, Indic Buddhist Manuscripts: The State of the Field, Stanford, June 15-19 2009* (Oesterreichische Akademie der Wissenschaften, Philosophisch-Historische Klasse Denkschriften, 460. Band; Beitrage zur Kultur- und Geistesgeschichte Asiens, Nr. 80), Verlag der Oesterreichischen Akademie der Wissenschaften, 2014, pp.257-267 (Shin'ichiro Hori 担当分).

桂紹隆・斎藤明・下田正弘・末木文美士編『智慧ノ世界ノことば 大乘仏典』(シ

リーズ大乘仏教 第4巻)春秋社, 2013, pp.183-211 (堀伸一郎担当分).

Ulrich Timme Kragh ed., *The Foundation for Yoga Practitioners: The Buddhist Yogacarabhumi Treatise and Its Adaptation in India, East Asia, and Tibet* (Harvard Oriental Series, Vol. 75), Department of Sanskrit and Indian Studies, Harvard University, 2013, pp.884-919 (Florin Deleanu 担当分).

GBS 実行委員会編『論集 華嚴文化の潮流』(ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集 第10号)東大寺, 2012, pp.8,10-21 (堀伸一郎担当分).

Robert Gimello, Frederic Girard and Imre Hamar, eds. *Avatamsaka Buddhism in East Asia: Huayan, Kegon, Flower Ornament Buddhism. Origins and Adaptation of a Visual Culture* (Asiatische Forschungen: Monographienreihe zur Geschichte, Kultur und Sprache der Voelker Ost- und Zentralasiens, Band 155), Harrassowitz Verlag, 2012, pp.15-35 (Hori Shin'ichiro 担当分).

桂紹隆・斎藤明・下田正弘・末木文美士編『唯識と瑜伽行』(シリーズ大乘仏教 第7巻)春秋社, 2012, pp.151-180 (デアヌ フロリン担当分).

Lalji Shrivak and Charles Willemen, eds., *Dharmapracaya: Aspects of Buddhist Studies. Essays in Honour of N.H. Samtani*, Buddhist World Press, 2012, pp.103-130 (Florin Deleanu 担当分).

〔その他〕

ホームページ等

サンスクリット仏教写本 所蔵機関リンク集

<http://www.icabs.ac.jp/iibs/links.html>

国際仏教学研究所 研究プロジェクト サンスクリット写本識語の研究 ネパール写本を中心として

<http://www.icabs.ac.jp/iibs/project.html>

l

6. 研究組織

(1) 研究代表者

DELEANU FLORIN (DELEANU, Florin)

国際仏教学大学院大学・仏教学研究科・教授

研究者番号: 10271404

(2) 研究分担者

堀伸一郎 (HORI, Shin'ichiro)

国際仏教学大学院大学・国際仏教学研究所・研究員

研究者番号: 60339778